

平成 30 年度 第 4 回郡山市中小企業及び小規模企業振興会議 会議内容

日時：平成 31 年 3 月 22 日(金) 14:30～16:30

場所：郡山市役所西庁舎 5 階 5-2-1,2 会議室

【出席者】

委員：初澤会長、高橋副会長、金内委員、菊地委員、相模委員、久井委員、
松枝委員、水野谷委員、山田（慶）委員、山田（剛）委員、渡部委員、
渡辺委員

（欠席：飯田委員、胡摩ヶ野委員、長尾委員）

※オブザーバー：（長尾委員代理）佐藤和樹氏

事務局等：村田産業観光部次長、
鈴木産業政策課長、佐久間産業創出課長、二瓶雇用政策課長、
穴戸産業政策課長補佐、
齋藤産業政策課産業政策係長、鈴木産業政策課産業振興係長、
安藤産業政策課産業政策係主任、渋谷産業政策課産業政策係主任
猪股産業創出課産業創出係長

【傍聴者】なし

1 開会（司会：穴戸課長補佐）

2 会長挨拶

- ・この会議は、昨年度 3 回、今年度は 4 回目の開催となり、今後、特段の議題が生じない限り、現任期では本日が最終となる。委員の皆様には、約 2 年間にわたりありがとうございました。
- ・今年度、議題としてきた産業ビジョンが策定となり、事務局から説明を受ける。
- ・本日は最終日であるが、委員の皆様からの忌憚りの無い御意見をお願いしたい。

3 議事

会長が議長となり議事運営。

（初澤会長）

- ・前回の会議内容を配付しているので、確認いただきたい。

- ・議事の進行について事務局から説明して欲しい。

(事務局：鈴木課長)

- ・議事(1)「知の結節点」こおりやま産業持続・発展ビジョンの概要については、前回会議以降の経過とともに、策定したビジョンの概要を報告する。
- ・議事(2)平成31年度の取組み等については、まず事務局から、中小企業向けを中心に、本市の来年度の産業関連の主要事業について説明する。次に、委員の皆様から、来年度の取組みなど情報提供をお願いする。
- ・会議全体で2時間以内を予定し、午後4時30分までと考えている。

(初澤会長)

- ・委員の皆様の協力をお願いする。

(1) 「知の結節点」こおりやま産業持続・発展ビジョンの概要について

事務局から資料1-1、参考資料ビジョン【概要版(仮)】により説明。

(初澤会長)

- ・委員の皆様から御意見、御質問があればお願いしたい。

(松枝委員)

- ・概要版に、「知の結節点」の説明がない。本編の「はじめに」に記載しているような注釈が必要ではないか。また、「ESG投資」などの注釈も本編のみなので、概要版にも必要ではないか。

(事務局：齋藤係長)

- ・概要版のため情報量が限られており、割愛しているものもある。その点は、口頭で説明をしたり、ウェブに掲載したりするなどで対応していきたい。

(初澤会長)

- ・すでに印刷が開始されているので、これでよろしいかと思えます。

(水野谷委員)

- ・パブリックコメントの0件についてどのように考えているか。

(事務局：齋藤係長)

- ・多くの団体に対し意見を求め、意見をいただいていたので、私どもが説明を尽くし、各団体等から意見が出尽くしたため、パブリックコメントでは意見が無かったと捉えている。

(松枝委員)

- ・パブリックコメントは広報紙には載せたか。また、市ホームページが改修中であったこともあり、パブリックコメントのホームページが見ることができないことがあった。現在はそのページがヒットしない。

(事務局：齋藤係長)

- ・広報紙は12月号に掲載した。パブリックコメント期間中は、毎日ウェブを確認していたが、ページが開かないことは無かった。現在は、パブリックコメント期間が終了しているので、そのページは閉じている。

(初澤会長)

- ・その他特に無いようなので、ここまでとする。

(2) 平成31年度の取組み等について

事務局等（産業政策課、産業創出課、雇用政策課の順）から資料2、参考資料平成31年度当初予算の概要により説明。

(初澤会長)

- ・来年度の産業関連事業ということだが、御意見があればお願いしたい。

(菊地委員)

- ・予算額の少ない事業はどのような事業か。
- ・各事業はビジョンにどのように位置づけられるのか。

(事務局：齋藤係長)

- ・予算額が0円、または少額である事業は、調査・検討を進めることが中心の事業である。
- ・各事業をビジョンの各目標に位置づけた資料については、後日郵送したい。

(松枝委員)

- ・新聞報道でパラマウント跡地への出店計画があると聞いており、また郡山中央スマートICが開通し、さくら通りは渋滞している。交通政策をどのように考えるのか。
- ・前回も尋ねて明確な回答をもらっていないが、外国人雇用の担当課はどこになるのか。この資料によると、雇用政策課のようだが、それで良いのか。
- ・保育士やひとり親家庭への支援は、従来どおりこども部で良いのか。

(事務局：鈴木課長)

- ・1点目の商業施設等の誘致やインターチェンジ周辺開発については、産業政策課と産業創出課が担当している。現在のところ具体的な進出事業者は無いが、具体的な計画等が出てきた段階で、交通政策も含め、全庁的に対応する。
- ・2点目の外国人雇用の窓口については、外国人労働者に係る衣食住など様々な分野にまたがる。事業者に対しては産業政策課、雇用者に対しては雇用政策課などそれぞれの担当課が対応することになる。

(事務局等：二瓶課長)

- ・外国人雇用に関してだが、具体的な施策は国、県で行うものである。市においては、外国人登録は市民課が、こどもの学校は教育委員会がと、日本人と同じように公共サービスを受けることができるよう、それぞれの目的に応じた窓口となる。
- ・ひとり親支援については雇用政策課の担当ではなく、こども部でひとり親支援事業の一覧を作成しているので参考にして欲しい。

(初澤会長)

- ・意見等はほかに無いようなので、続いて、委員の皆様から、各所属団体の来年度の取組みなど情報提供についてご紹介いただきたい。

各委員から各資料により説明。

(相模委員)

- ・(資料「会員企業へのアンケート結果について」により、福島県中小企業家同友会郡山地区が、平成30年10月に会員を対象に実施したアンケート結果を報告。)
- ・同友会は、アンケート結果で分かった課題を解決するために、今後、各団体とともに民間主導で専門部会をつくり、そこでのアイディアなどを市に提言していきたい。

(高橋副会長)

- ・(資料「郡山地区 12 商工会の小規模事業者経営発達支援計画概要」により、郡山地区商工会広域協議会の平成 31 年度の取組みについて説明。)

(松枝委員)

- ・伴走型支援とあるが、17 人の職員で、1 人当たり何件を受け持つのか。

(高橋副会長)

- ・相談件数は、職員 1 人当たり年間延べ 500~700 件。経営計画の策定まで実施したものは 63 件。

(山田剛委員)

- ・(資料「中小企業支援に関する事業」により、郡山商工会議所の平成 31 年度の取組みについて説明。)

(渡部委員)

- ・(資料「AI・IoT 実証拠点構築」等により、福島県ハイテクプラザの新たな事業について説明。)

(菊地委員)

- ・今後、生産性向上のためのロボット化事業などは予定しているか。

(渡部委員)

- ・動くものをカメラが認識し、それを指定したところへ移動したり、危険な作業かどうかを判断したりなど、課題をいただきながら進めて行きたい。

(長尾委員代理：佐藤氏)

- ・(日本政策金融公庫の事業(融資制度、創業支援、事業承継など)について説明。)

(渡部委員)

- ・事業承継「つなぐノート」は我々も見ることができるか。

(長尾委員代理：佐藤氏)

- ・ご希望があれば配付する。10 ページ程度の薄い物で、昨年の産業博でも人気があった。

(金内委員)

- ・(参考資料「経済産業省 地域関連施策のご紹介」16・17 ページにより、中小企業等人材対策事業について説明。)

(初澤会長)

- ・意見はほかに無いようなのでこれまでとする。

(3) その他

(初澤会長)

- ・冒頭で申し上げたとおり、今回が現任期の最後の会議となるので、各委員からこれまでの感想など一言お願いしたい。

(金内委員)

- ・初めて市の会議の委員になった。郡山市の具体的な施策などについて参加できたとともに、各委員の皆さんのお話を聞くことができ大変参考になった。

(菊地委員)

- ・税理士の立場で参加したが、郡山市には小規模事業者が非常に多いので、小規模事業者の支援を行っていただければいいかと思う。今年は消費税増税への対応が重要であり、一番の課題は事業承継である。

(相模委員)

- ・昨年12月に、中小企業振興条例関係で、同友会で愛媛県松山市などを視察した。こちらの振興会議は分科会があり活発なコミュニケーションが図られている。委員長が、会議の後の「飲みニケーション」が特に大事と言っていた。

(高橋副会長)

- ・一年間ありがとうございました。

(長尾委員代理：佐藤氏)

- ・長尾がこの春、人事異動となる。出席できず申し訳ない。今後も小規模事業者を中心に支援していきたい。

(久井委員)

- ・ 社会保険労務士として参加したが、中小企業の抱える悩みの解決には試行錯誤の連続である。働き方改革や人手不足については、厚生労働省から社会保険労務士会に委託されている。

(松枝委員)

- ・ 潜在的な労働力である外国人やひとり親、また双葉郡からの避難者を就労に活用すべき。
- ・ こおりやま広域圏内の自治体でも中小企業振興条例を作り始めている。郡山市はトップランナーとして、横の連携を進めて欲しい。

(水野谷委員)

- ・ 福島県よろず支援拠点、中小企業、小規模事業者の皆さんにまだ認知度が低い。今後も、事業承継や消費税増税など、皆さんと一緒に課題の解決をしていきたい。

(山田慶委員)

- ・ 経営者としての意見だが、国際的な競争が厳しくなっているため、短期的にも中期的にも景気は悪くなると思う。
- ・ 生産性の向上のため、企業が人材育成するとともに、働き方改革により生まれた時間で自己啓発して欲しい。
- ・ 外国人労働者の受入れに対し、相当な覚悟が必要である。家族も帯同できるので、外国人労働者の総合窓口が無いと厳しいのではないかと。労働人口を増やすチャンスかもしれない。

(山田剛委員)

- ・ 産業ビジョン策定に携わることができて良かった。今後も、情報発信や小規模事業者に対する伴走支援をしていきたいので、引き続きご支援、ご協力をお願いしたい。

(渡部委員)

- ・ 福島県ハイテクプラザでは、技術的サポートをしている。皆さんと意見交換ができて大変勉強になった。

(渡辺委員)

- ・ 公募委員として参加したが、経営者として大変勉強になった。会社の経営は日々課題の連続であるので、ビジョンのサブタイトル「課題解決力のあるe-経済県

都を目指して」には大きな可能性を感じている。

(初澤会長)

- ・今年度から、福島市の振興会議の会長を任されている。福島市の会議では、次の年度の施策を検討するのは時間的に厳しいので、1年半かけて議論し、翌々年度の施策創出を目指すこととしている。
- ・これまでの委員の皆さんのご意見などを、次年度の会議に引き継いで欲しい。
- ・以上で議事を終了する。2年間ありがとうございました。

4 その他

(事務局：村田次長)

- ・今年度は4回にわたり、ありがとうございました。約2年間、それぞれのお立場からの本市中小企業振興策への貴重なご意見については、産業ビジョンの推進と併せ、施策に反映して参りたい。

4 閉会 (16:30)

以上